







CSRレポート2017







発行 2018年 5月 レッキス工業株式会社

創業の精神 社是「三利の向上」

社是に「三利の向上」を掲げています。これは、創業者の貴重な経験と努力から生まれた、会社のあり方についてまとめたものですが、創業者の理念として、現在の「理想の姿」が生まれた背景になっています。

三利とは、お客様、社員、社会の三者の利をいいます。この三者がいかなる場合にも共に利あるよ う全社員が一丸となって努力します。

各人が互譲、信頼の精神並びに共治、共栄、共福を達成し、社会に貢献していきます。

私たちが目指す姿(ビジョン)

- 1. 独自の技術・サービスを創造し、業界をリードする会社を目指します。
- 2. 最高の製品・サービスの提供を通じて、信頼される会社を目指します。
- 3. 地域社会に貢献し、社会から必要とされる会社を目指します。
- 4. 共に考え、助け合える、働きがいのある会社を目指します。

トップコメント



代表取締役社長 宮川 純一

<「パイピング ソリューション」で社会貢献>

- ◆ レッキスでは、水道やガスなど我々の毎日の生活になくてはならないライフラインの確保の為、配管設備など様々な分野での商品開発に力を注いでいます。 「パイピング ソリューション」を合言葉に、あらゆる配管のトラブルや課題解決を通じてお客様の満足度の向上や社会貢献に取り組んでいます。
- ◆ 近年は特に震災などの災害に強い耐震性・耐久性に優れた配管システムの提案 や、作業現場で働く人々の作業環境や環境保全など、お客様視点でのモノづくり を基本に、高品質な商品・サービスの提供を目指しています。

<CSR活動推進で人も企業も成長>

- ◆ レッキスではCSR活動(社会貢献)を大きく3つの分野で取り組んでいます。
 - ① 商品・サービスの提供を通じて社会インフラの整備に貢献
 - ② 障がい者雇用やボランティア活動を通じての地域社会への貢献
 - ③ 環境にやさしい商品作りや、省エネ・リサイクルで地球環境保全への貢献 これらの活動を我々メンバー一人ひとりが「当たり前の行動」として積極的に取り組み、 人(従業員)の成長を通じて「社会から選ばれる企業」を目指します。

<そして「私たちが目指す理想の姿」実現のために>

- ◆ 日本企業は、為替・エネルギー・税制など六重苦に苦しめられてきました。 そんな逆風のなか「日本のメーカー」として生き残るには、日本人が日本でしか出来ない商品サービス を提供し続けることだと思います。
- ◆ 一方で、世界で競争力のある商品を市場に提供するには、レッキスの中国・アメリカの工場や世界 各地のビジネスパートナーとの連携が大変重要です。これらのグローバルパートナーは、一昨年の熊本 地震や7年前の東日本大震災、またタイ洪水などの災害や中国リスク等による事業継続計画(BCP) のリスクマネジメントにも重要な存在です。
- ◆ 最後に社内においては「ほめ合える文化」の浸透を通じて「個人も職場もやりがいがあり、達成感 が得られる環境づくり」を推進しています。そして「笑顔」いっぱいの会社を目指します。



レッキスのモノづくりは、「お客様の喜んで頂く顔」をコンセプトに、「独自性・感動・創造性」の 3つを開発ポリシーに「現場作業に見合った最適な商品」の提供を志し、作業者と作業現場に密着した 商品開発を行うため、お客様の声に耳を傾け、お客様と共に歩んでいきたいと考えています。

こういった活動が「社会インフラ整備」への貢献にも繋がっています。そんなレッキスの商品には、 お客様の声をもとに多くの工夫が詰まっています。

お客様の声を集約した開発・商品

◆F25AⅢ パイプマシン





断突防止スイッ

お客様の声を集約した商品です。使っていただく上で、 安全性を重視しています。ブレーキ付きモーターの採用 で巻き込み防止や、短管加工中での衝突防止の安全装置 を装備しました。

持ち運びでは小型・軽量に加え、ハンドルが取り外し可能で電源コードなどと一緒に収納できます。

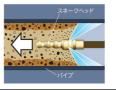
油まわりでは経路を簡素化し、油漏れの不具合を低減させました。

また環境配慮に優れた設計となっています。(環境配慮の詳細は6頁で紹介)

◆自吸機能付き高圧洗浄機 ウオッシュキングRZ3







自動停止機能に自吸機能を付加し、作業性向上・経済性 良好な商品となっています。特に経済性では、節水・節 電効果があります。

また小型・軽量と車輪とで移動が簡単になっています。 自吸機能は屋外での使用を便利にし、屋外の電力事情の 悪いところでも対応できるよう低電圧 (70V) に強い モーターを採用しました。

オプションのパイプクリーニングキットの使用で、管内 洗浄も可能となっています。

障害者雇用の推進

障がい者に役立つ取り組み・改善の実践

障がいのある方を雇い入れたことをきっかけに、安心して働ける会社づくりを進めています。 その結果が障害者雇用率に現れていると考え、今も10%を超える雇用率を保っています。 特に当社には聴覚障害の方が多く在籍しており、言葉に代わる指示や信号が必要となり、職場では そのための改善が多く施されています。

聴覚障がい者への支援・改善活動

職場では手話がよく使われています。指示を出す作業リーダーは長年の経験で手話を覚え、近年は、入社時に「手話の基本」を研修プログラムに組み込んでいます。年間行事や社内研修会では専門の手話通訳の方にも参加していただいています。 休憩を知らせる信号として「青いパトライト」が活躍しています。今年は地震災害を想定した改善として気象庁に直結した機器より、職場に大地震の予報を知らせる「赤いパトライト」を設置しました。これを使った避難訓練も実施しました。







働く障がい者への支援活動

今年も5月の日曜日に「大阪府布施障害者雇用対策協議会」 を代表して、周辺企業で働く障がい者の支援として「東大阪 市民ふれあい祭り」に参加しました。今年も天候に恵まれ、 参加した新入社員など従業員の頑張りもあり、会員企業様や 従業員から提供いただいたバザー品や模擬店「スーパーボー ルすくい」が大盛況となり、多くの売り上げに繋がりました。 この売上金を協会に寄付しています。

この寄付金は会員企業で働く障がい者の雇用定着を目的とし たレクレーションの一部に使われています。今年も「吉本新 喜劇」に招待することができました。





また模擬店「スーパーボールすくい」には、当社東大阪工場 の近くにある児童施設のこどもたちを昨年から招待するよう になりました。事前に遊戯券と案内状を同施設に届け、それ を持って遊びにきてくれます。そんな楽しんでいる姿をこれ からも支援していきます。



支援学校との交流

Win-Win の繋がりを築いています

たまがわ高等支援学校の生徒さんに花壇いっぱいの花を植えていただいています。そのお陰で何時も花壇には季節の花が咲き、通りゆく近隣の方々が足を止めて眺めていただくシーンがいつの間にか当たり前の様になりました。当社もそんな光景に甘えてばかりはおれませんので生徒さんの職場実習の受入れや、夏野菜の販売に協力を続けています。そしてこの交流の花がもっと大きく開くことを願っています。

採れたて夏野菜の社内即売会

昨年に続き8月4日にたまがわ高等支援学校で栽培された野菜 の即売会を実施しました。

例年より雨の多かった夏でしたが、育てられた野菜は色艶よく 今年も完売となりました。

買う方は昨年の経験でどの野菜が安くて美味しいかを知っており、お目当ての野菜は直ぐに売り切れてしまいました。



花壇を一年中花でいっぱいにして頂いています

たまがわ高等支援学校の生徒さんが春・夏・秋・冬と季節に合 わせて花壇に花を植えにきてくれています。

そんな花は咲く時期を知っているかのように開き、道行く近隣 の方々の足を止めてくれます。花壇に縁に腰をかけてお話され ている様子など見ると学校並びに生徒さんの努力に感謝の念で いっぱいです。

今年はお礼に大きな植木鉢を寄付させていただきました。 年末にはその鉢に植わった木々の写真をいただき、とても良い 交流が続いています。





工場見学と職場実習の受入れ

今年もたまがわ高等支援学校の生徒さんが工場見学に来られま した。見学は次の職場実習体験にも繋がります。そのために多 くの質問もあり、その内容を課題として整えていく必要があり ます。

職場実習は7月に東大阪支援学校から一名、11月にたまがわ 高等支学校から一名来られました。製品の組立工程を主にそれ ぞれ5日間、職場の担当リーダーの指導や注意事項を受け、一 生懸命に作業されていました。来年も一名でも多くの受け入れ を予定しています。



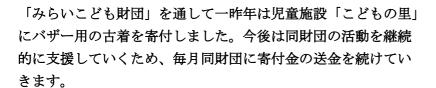




児童施設への定期的な寄付や支援を広げています。大阪市内にある児童施設を支援する団体には寄付金 が毎月送金できるような手続きをし、東大阪工場の近隣施設には年二回の会社行事に招待を継続して行 うようになりました。これからもこどもたちに役立った支援活動を広げていきます。

児童施設への寄付

9月に奈良の児童発達支援施設「すくすく」を訪ねました。 ここでは毎日児童を迎えにいき、施設の中で支援する先生方が 精一杯対応されています。通って来るこどもたちも障がいを苦 にせず頑張っている姿はとても可愛く想えました。 これからも応援を続けていきます。



12月末は恒例で「生駒学園」へお餅を寄付しています。 社内行事のお餅つきで丸めた子餅を施設や老人会へ配ったこと から始まり、行事が途絶えている間もお餅屋さんに頼んで届け てもらっています。







近隣児童施設の子供たちを招待

今年も5月に児童施設「若江学院」のこどもたちを市民ふれあい祭りの模擬店「スーパーボールすくい」に、7月には社内のバーベキューパーティに招待しました。真夏のパーティでは、「かき氷」や「ジュース」が飛ぶように売れ、従業員と一緒にお肉をほうばりながらの抽選会参加など、楽しいひと時を過ごしていただくことができました。



ペットボトルのキャップ効果

環境活動でペットボトルのキャップを集めて「エコキャップ推進協会へ送り続けています。キャップはリサイクルされその資金が発展途上国のこどもたちへのワクチン注射や、寄付金となっています。昨年は東京の営業所から多くの協力もあり、7,3千個(17Kg)と、例年の2倍を送ることができました。





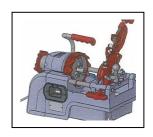
地球環境を大切にした活動

事業活動を通じて環境保護に貢献

環境方針「事業活動を通じて、環境保護に貢献する」を掲げ、自社商品の環境配慮のためあらゆる工程で省エネ(電力削減など)や、排出されるゴミの削減(リサイクル率向上)などを重要項目として取り組んでいます。

環境対応商品の開発

「F25AⅢ」パイプマシンを開発し、販売しました。 カタログでは使われるお客様にとっての環境配慮を重点的に掲載していますが、製造工程での環境配慮も施されています。 具体的にはボディ(主軸台)と、ミッション部のケースの形状を改良し、部品加工時間を大きく削減しています。他の商品も開発段階で色々な角度から環境に配慮をしています。

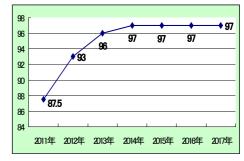


徹底したゴミ分別で高いリサイクル率を維持

廃棄物の徹底した分別が全体の排出量を下げています。

商品の部品の調達先(仕入先)にも購買部門から3R活動への協力をお願いするなど、その効果は可燃ゴミ削減では単年目標を大きくクリアしました。また、廃油・廃プラスチックなどのリサイクル可能品自体も減り、その中でのリサイクル率(97%)維持はとても良い活動結果となっています。

鳥取工場においてはリサイクル率を過去6年間に渡り99%維持しています。この継続した活動が認められ、11月に日本機械工具工業会より環境特別賞を受賞しました。また同工場では2014年から3年連続で、Co2原単位排出量も削減し続けています。







地域清掃活動

環境チームで駅前清掃を続けています。2016年からは回数を年2回(6月・11月)に増やし、近鉄河内花園駅〜東大阪工場間のゴミ拾いを中心に行っています。地域住民の方々の清掃活動も見受けられ、少しづつですがゴミの量が減ってきており、その効果に達成感を感じています。

東大阪工場周辺は商品の修理担当部門・テクノサービス部が毎 週水曜日に部の環境活動として清掃を続けています。

工場内の美化も進み、環境活動を通して地域貢献を進めています。





働きがいのある職場づくり

ビジョンとして私たちは、「共に考え、助け合える、働きがいのある会社」を目指しています。そのためにも職場の安全や社会ルールを守ることを大切にし、明るく活気があり、コミュニケーションの良い会社づくりを進めています。

安全衛生活動と、災害対策

安全衛生委員会として社内の5S・安全に関するパトロールを続けています。特に災害時の避難路確保は重点事項として確認しています。そんな有事の際には直ぐに初期消火が可能なように日々訓練を行い、市内消防署で行われる消火大会にも参加しています。今年はこれまでの活動と大会成績が認められ、指導監督が消防局長より表彰を受けました。



改善提案活動

改善提案活動を活発に行っています。効率生産など業務改善だけでなく、「新商品」や「こんな活動をやってみては!?」など、色々な提案が出ています。また年間の提出件数も 1500 件を超え、それぞれがその内容を認め・ほめ合い、働きがいや、組織の活性化に繋がっています。



ありがとう経営の定着

良い行動に対して、見た方・受けた方が「ほめ合える掲示板」に「ありがとう!」を書き、互いに認め・ほめ合う活動(ありがとう経営)を続けています。年々参加する従業員も増え、「ありがとう!」の数も増え(2016年:2200件、2017年:2300件)、組織の活性化に繋がっています。



健康経営優良企業への取り組み

経済産業省の制度「健康経営優良企業」の認定を目指すことで 従業員に健康を促し、関連の社内勉強会や報告会を実施してい ます。(9月:食の健康教室、11月:ハラスメント研修)

健康診断においては全社員の受診を進め、その中にもオプションで受診できる「がん検診」なども取り込んでいます。 また喫煙場所も定め分煙の徹底を図っています。 これらの取り組みを働きがいのある職場に繋げていきたいと考えています。

(*2019年3月の「健康経営優良企業認定」を目指しています)







